

様式第十三（第五十八条第四項関係）

要措置区域台帳

栃木県

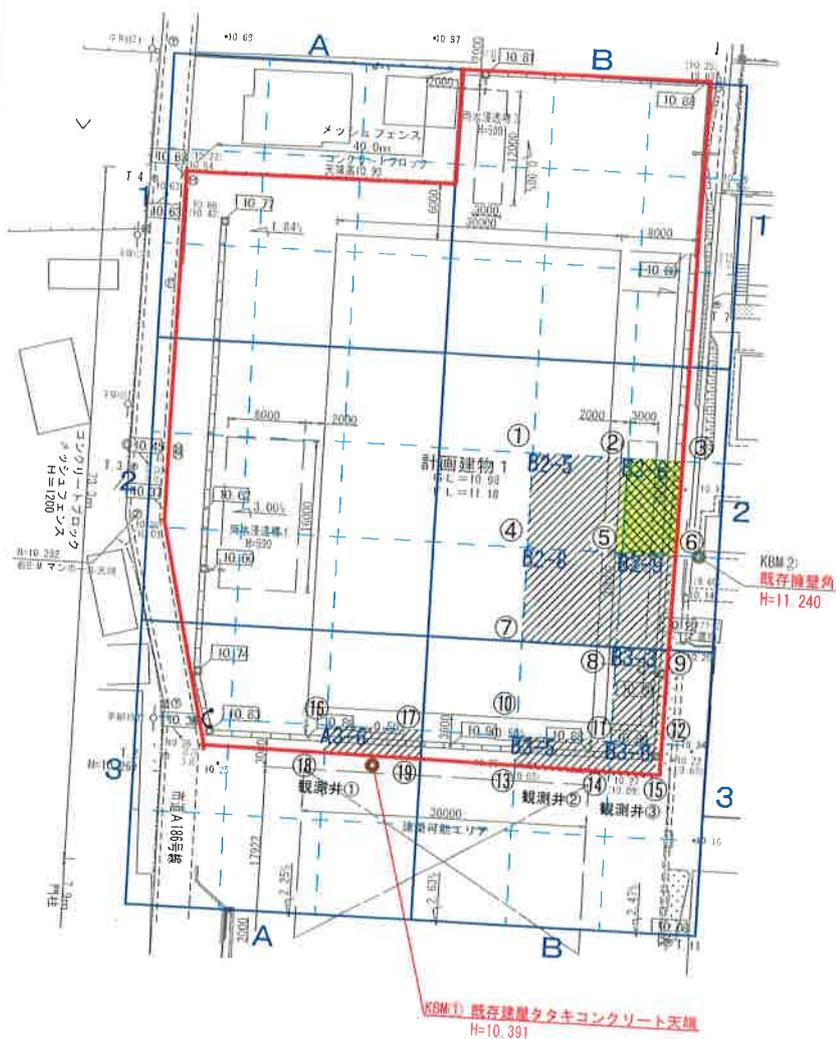
整理番号	平-29-3	指定年月日・指定番号	平成29(2017)年5月12日 要-14	所在地	栃木市平柳町二丁目字伊勢前104番3及び105番1の各一部	
調製・訂正年月日	平成29(2017)年5月12日（平成29(2017)年10月20日一部訂正）（平成30(2018)年7月9日一部訂正）					
要措置区域の概況	事業場敷地			面積	407.467 m <sup>2</sup>	
地下水汚染の有無（土壌溶出量基準不適合の場合）	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無					
法第14条第3項の規定に基づき指定された要措置区域にあつては、その旨	-					
土壌汚染のおそれの把握等、試料採取等を行う区画の選定等又は試料採取等を省略した土壌汚染状況調査の結果により指定された要措置区域にあつては、その旨及び当該省略の理由	-					
要措置区域内の土壌の汚染状態	報告受理年月日	指定に係る特定有害物質の種類		適合しない基準項目		指定調査機関の名称
	平成29(2017)年3月3日	ふっ素及びその化合物		含有量基準・ <input checked="" type="checkbox"/> 溶出量基準・ <input checked="" type="checkbox"/> 第二溶出量基準		(株)環境ラボ
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
土地の形質の変更の実施状況	届出(着手)時期	完了時期	土地の形質の変更の種類		実施者	土壌搬出
	平成29(2017)年7月25日	平成29(2017)年9月8日	土壌汚染の除去		(株)環境ラボ	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
						有・無
						有・無
						有・無

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 「要措置区域内の土壌の汚染状態」については、土壌その他の試料の採取を行った日、当該試料の測定の結果等を記載した書類を添付すること。

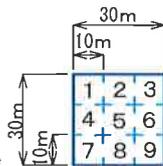


格子回転角度 : 3° 21' 23"



<凡例>

- ⊕ : 起点
- : 調査対象地
- : 単位区画
- : 30m格子
- ▨ : 要措置区域
- ▨ : 形質変更時要届出区域



測点	X座標	Y座標	G.L. 標高	孔口標高
①	43212.696	-8053.306	10.367	—
②	43212.259	-8043.315	10.410	—
③	43212.017	-8043.803	10.354	—
④	43202.705	-8053.743	10.351	—
⑤	43202.268	-8043.752	10.320	—
⑥	43202.036	-8038.443	10.307	—
⑦	43192.715	-8054.180	10.298	—
⑧	43192.278	-8044.189	10.535	—
⑨	43192.054	-8039.083	10.469	—
⑩	43182.724	-8054.617	10.323	—
⑪	43182.287	-8044.626	10.467	—
⑫	43182.073	-8039.723	10.245	—
⑬	43179.423	-8054.761	10.301	—
⑭	43178.811	-8044.779	10.300	—
⑮	43178.515	-8039.951	10.215	—
⑯	43183.599	-8074.598	10.249	—
⑰	43183.161	-8064.607	10.330	—
⑱	43180.647	-8074.727	10.312	—
⑲	43180.035	-8064.744	10.367	—
観測井①	43179.852	-8070.497	10.335	10.281
観測井②	43178.412	-8050.953	10.380	10.320
観測井③	43178.591	-8041.895	10.277	10.208
KBM①	—	—	10.391	—
KBM②	—	—	11.240	—

添付資料 4

座標値及び地盤高測定結果

A4: 1/800

株式会社環境ラボ

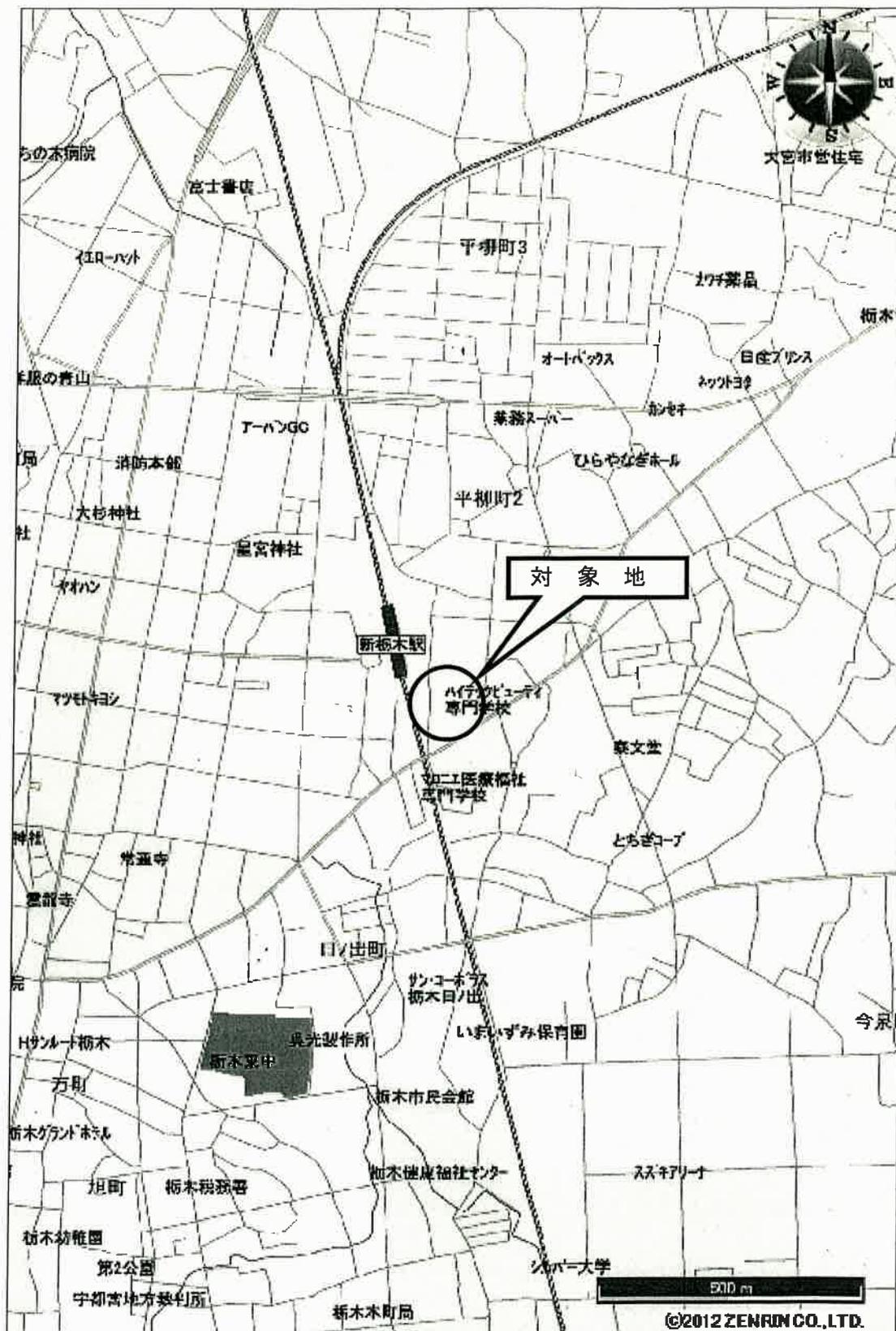
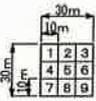
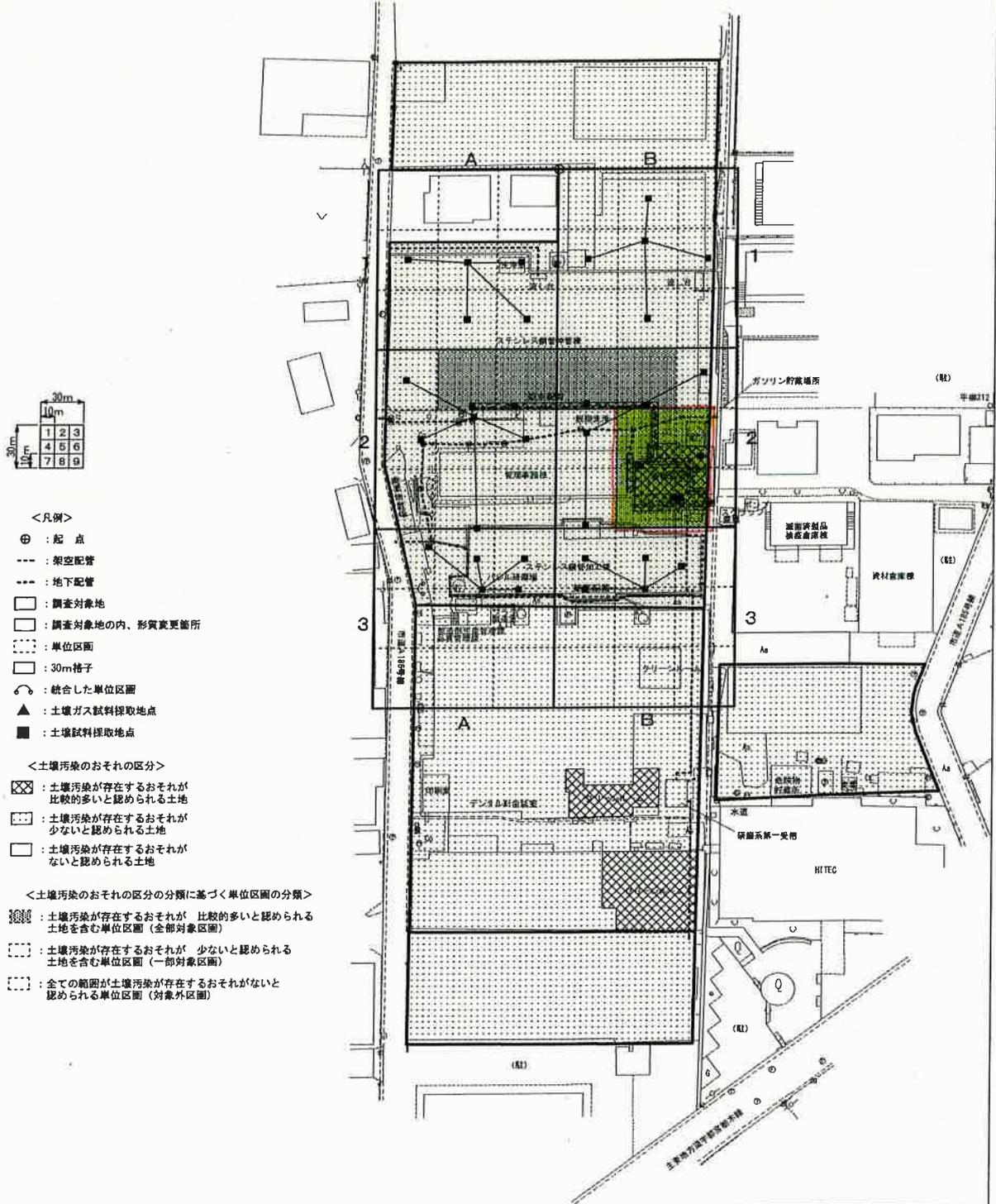


図 1. 4. 1 対象地位置図

N  
 格子図転角度: 0° 21' 23"

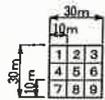


- <凡例>
- ⊕ : 起 点
  - : 架空配管
  - : 地下配管
  - : 調査対象地
  - : 調査対象地の内、形質変更箇所
  - : 単位区画
  - : 30m格子
  - ⤵ : 統合した単位区画
  - ▲ : 土壌ガス試料採取地点
  - : 土壌試料採取地点
- <土壌汚染のおそれの区分>
- ⊗ : 土壌汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地
  - ⊘ : 土壌汚染が存在するおそれが少ないと認められる土地
  - : 土壌汚染が存在するおそれがないと認められる土地
- <土壌汚染のおそれの区分に基づく単位区画の分類>
- ⊗ : 土壌汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地を含む単位区画 (全部対象区画)
  - ⊘ : 土壌汚染が存在するおそれが少ないと認められる土地を含む単位区画 (一部対象区画)
  - : 全ての範囲が土壌汚染が存在するおそれがないと認められる単位区画 (対象外区画)

添付資料3 土壌試料採取位置図  
 第二種特定有害物質 (表層)  
 (ふっ素及びその化合物)

A4 : 1/1,000

N  
 袖子回転角度：3° 21' 23"



<凡例>

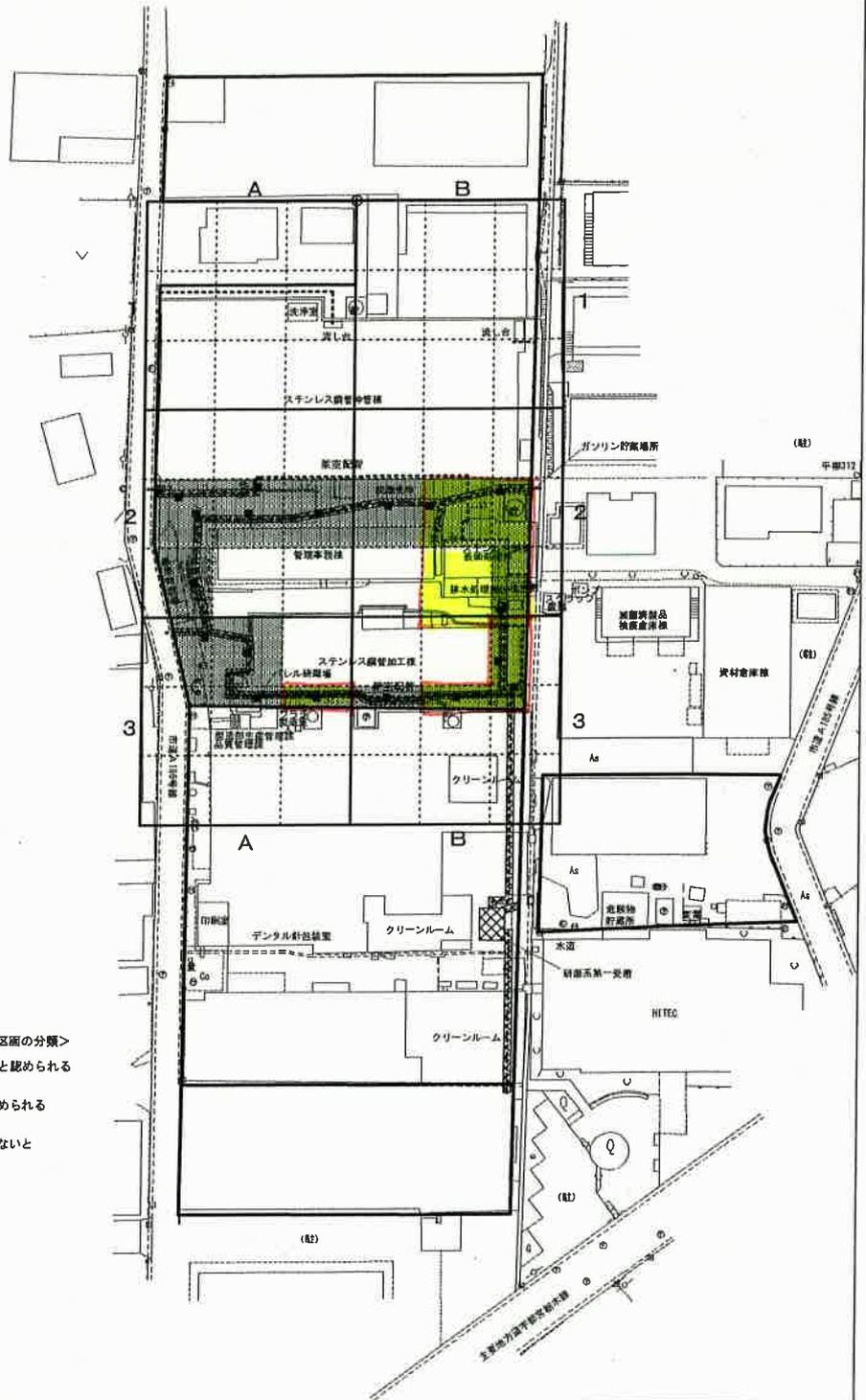
- ⊕ : 起点
- : 架空配管
- : 地下配管
- : 調査対象地
- : 調査対象地内、形質変更箇所
- : 単位区画
- : 30m格子
- : 統合した単位区画
- ▲ : 土壌ガス試料採取地点
- : 土壌試料採取地点

<土壌汚染のおそれの区分>

- ⊗ : 土壌汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地
- ⊘ : 土壌汚染が存在するおそれが少ないと認められる土地
- : 土壌汚染が存在するおそれがないと認められる土地

<土壌汚染のおそれの区分に基づく単位区画の分類>

- ⊗ : 土壌汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地を含む単位区画（全部対象区画）
- ⊘ : 土壌汚染が存在するおそれが少ないと認められる土地を含む単位区画（一部対象区画）
- : 全ての範囲が土壌汚染が存在するおそれがないと認められる単位区画（対象外区画）



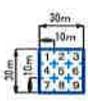
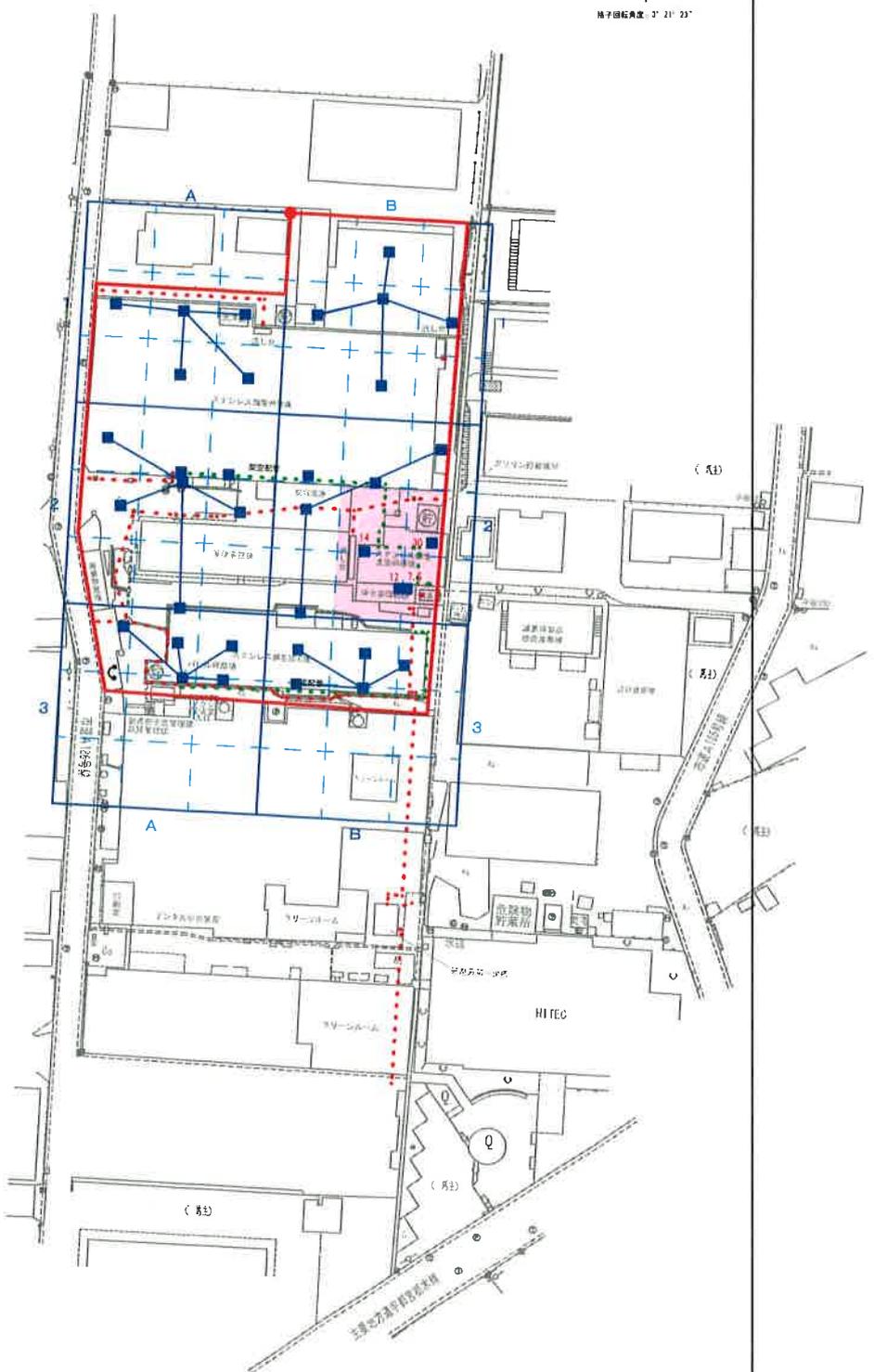
添付資料3 土壌試料採取位置図  
 第二種特定有害物質（深層）  
 （ふっ素及びその化合物）

A4 : 1/1,000



試料名	種別	ふっ素及びその化合物		
		深さ(L-L'間)	土壌溶出量 (ng/L)	土壌含有量 (ng/g)
A1	濃白試料	—	0.42	N.D.
A2-A	濃白試料	—	0.30	N.D.
A2-2-2	測定配管	—	0.61	N.D.
A2-3-2	測定配管	—	0.30	N.D.
A2-4H-1	配管下	0.40~0.90	0.19	N.D.
A2-4H-2	配管下	1.21~1.71	0.33	N.D.
A2-5AH	配管下	0.95~1.46	0.47	N.D.
A2-5BH	配管下	0.33~0.83	0.47	N.D.
A2-6H	配管下	0.38~0.88	0.19	N.D.
A2-7AH	配管下	0.48~0.98	0.24	N.D.
A3	濃白試料	—	0.37	N.D.
A3-1H-1	配管下	0.20~0.70	0.40	N.D.
A3-1H-2	配管下	0.49~0.99	0.21	N.D.
A3-1H-3	配管下	1.85~2.45	0.36	N.D.
A3-2H	配管下	0.23~0.73	0.74	N.D.
A3-5H-1	配管下	0.33~0.83	0.50	N.D.
A3-5H-2	配管下	1.57~2.07	0.26	N.D.
A3-6H	配管下	0.23~0.73	1.3	N.D.
B1	濃白試料	—	0.32	N.D.
B2-1-2	測定配管	—	0.30	N.D.
B2-2-2	測定配管	—	0.40	N.D.
B2-5	濃白試料	—	0.39	N.D.
B2-6H	配管下	0.35~0.85	0.17	N.D.
B2-5	濃白試料	—	14	1700
B2-5H	配管下	0.44~0.94	0.11	N.D.
B2-6H	濃白試料	—	30	28000
B2-6H	配管下	0.38~0.88	0.33	N.D.
B2-8-3	濃白試料	—	13	660
B2-9-2	濃白試料	—	7.5	N.D.
B2-9H-1	配管下	0.23~0.73	N.D.	N.D.
B2-9H-2	配管下	1.09~2.19	0.11	N.D.
B3	濃白試料	—	0.45	N.D.
B3-3H	配管下	0.43~0.93	1.7	N.D.
B3-4H	配管下	0.23~0.73	0.78	N.D.
B3-5H	配管下	0.23~0.73	1.6	N.D.
B3-6H-1	配管下	0.23~0.73	0.38	N.D.
B3-6H-2	配管下	0.48~0.98	0.29	N.D.
B3-6H-3	配管下	1.09~1.59	1.3	550
測定基準	—	—	0.8	4000
実測下限値	—	—	0.08	400

※赤字は指定基準超過、青字は指定基準以下  
※N.D.は定量下限値未満



- <凡例>
- : 配点
  - : 架空配管
  - - - : 地下配管
  - : 調査対象地
  - : 単位区画
  - : 30m格子
  - : 統合した単位区画
  - : 土壌試料採取地点
  - : 指定基準値を超過した単位区画

添付資料16 土壌溶出量・含有量試験結果図  
第二種特定有害物質 (表層)  
(ふっ素及びその化合物)

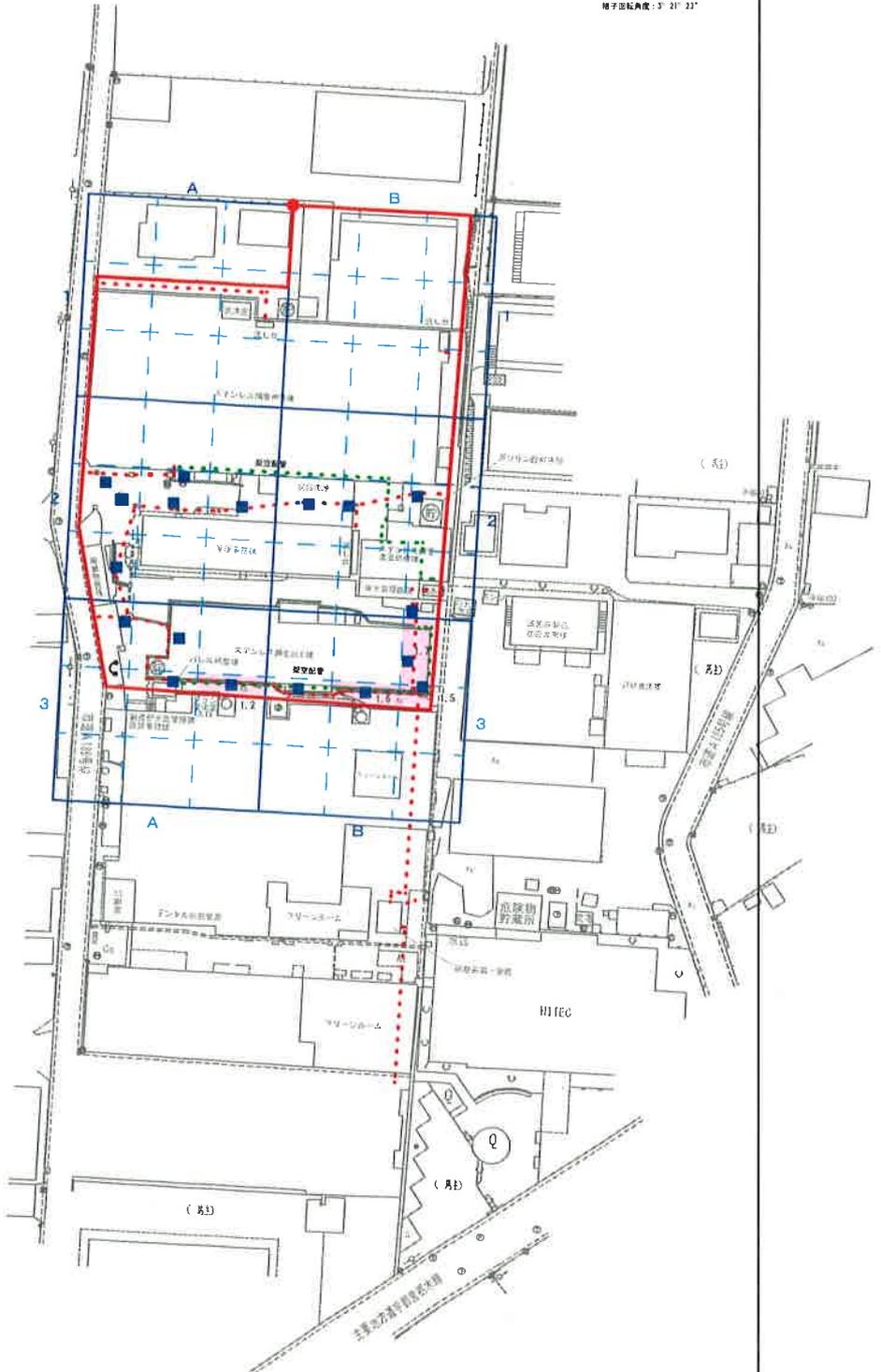
1/1000



N  
 格子方位角: 3° 21' 31"

試験名	種別	ふっ素及びその化合物		
		深さ(L)-D	土壌溶出量(mg/L)	土壌含有量(mg/kg)
A1	調査試験	—	0.42	N.D.
A2-A	調査試験	—	0.30	N.D.
A2-2-2	架空配管	—	0.61	N.D.
A2-3-2	架空配管	—	0.30	N.D.
A2-4H-1	配管下	0.40~0.60	0.10	N.D.
A2-4H-2	配管下	1.21~1.71	0.53	N.D.
A2-5AH	配管下	0.96~1.46	0.47	N.D.
A2-5BH	配管下	0.33~0.83	0.47	N.D.
A2-6H	配管下	0.38~0.88	0.19	N.D.
A2-7AH	配管下	0.48~0.98	0.34	N.D.
A3	調査試験	—	0.37	N.D.
A3-1H-1	配管下	0.30~0.70	0.40	N.D.
A3-1H-2	配管下	0.49~0.99	0.27	N.D.
A3-1H-3	配管下	1.95~2.45	0.34	N.D.
A3-2H	配管下	0.23~0.73	0.74	N.D.
A3-5H-1	配管下	0.33~0.83	0.50	N.D.
A3-5H-2	配管下	1.52~2.02	0.35	N.D.
A3-6H	配管下	0.23~0.73	1.2	N.D.
B1	調査試験	—	0.32	N.D.
B2-1-2	架空配管	—	0.38	N.D.
B2-2-2	架空配管	—	0.48	N.D.
B2-0	調査試験	—	0.35	N.D.
B2-6H	配管下	0.35~0.85	0.17	N.D.
B2-5	調査試験	—	1.4	1700
B2-5H	配管下	0.44~0.94	0.11	N.D.
B2-6B	調査試験	—	30	3000
B2-6H	配管下	0.39~0.89	0.33	N.D.
B2-8-2	調査試験	—	12	660
B2-9-2	調査試験	—	7.8	N.D.
B2-9H-1	配管下	0.23~0.73	N.D.	N.D.
B2-9H-2	配管下	1.69~2.19	0.11	N.D.
B3	調査試験	—	0.46	N.D.
B3-3H	配管下	0.43~0.93	1.7	N.D.
B3-4H	配管下	0.23~0.73	0.70	N.D.
B3-5H	配管下	0.23~0.73	1.5	N.D.
B3-6H-1	配管下	0.23~0.73	0.25	N.D.
B3-6H-2	配管下	0.48~0.98	0.20	N.D.
B3-6H-3	配管下	1.00~1.50	1.3	560
指定基準	—	—	0.3	400
指定基準	—	—	0.08	400

※赤字は指定基準超過、青字は指定基準以下  
 ※N.D.は定量下限値未満

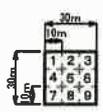
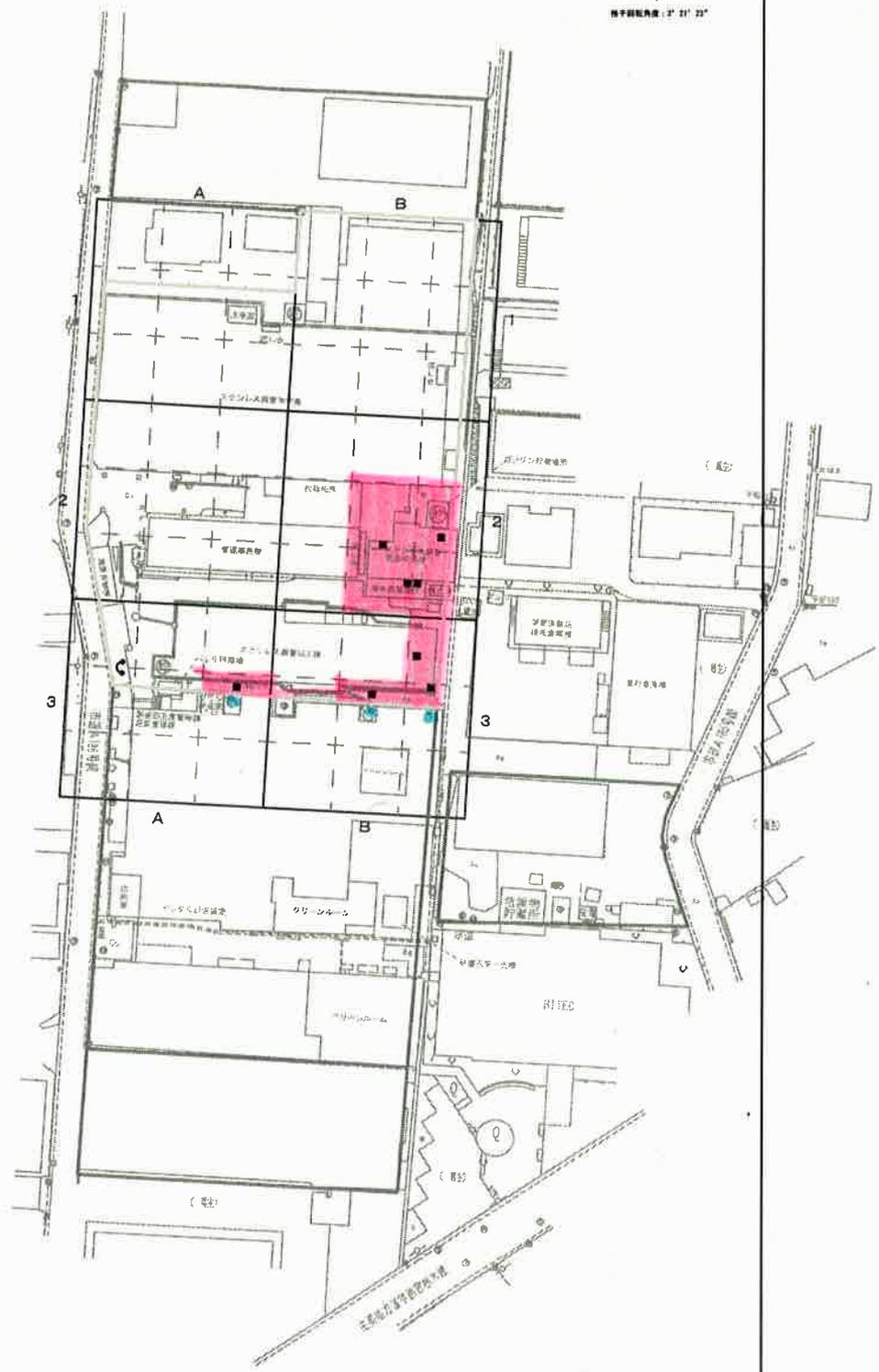


- <凡例>
- : 観測点
  - : 架空配管
  - : 地下配管
  - : 調査対象地
  - : 単位区画
  - : 30m格子
  - : 統合した単位区画
  - : 土壌材料採取地点
  - : 指定基準値を超過した単位区画

添付資料16 土壌溶出量・含有量試験結果図  
 第二種特定有害物質 (深層)  
 (ふっ素及びその化合物)



標準方位角: 2° 31' 33"



<凡例>

- ⊕ : 配点
- - - : 架空配管
- - - : 地下配管
- : 調査対象地
- : 調査対象地内の形質変更箇所
- : 単位区画
- : 30m格子
- : 統合した単位区画
- : 土壌試料採取地点
- ⊗ : 調査基準値を超過した単位区画
- : 観測井戸設置予定位置

観測井戸設置位置 (案)

1/1000

株式会社 国土院